

## 創薬支援ネットワーク協議会

### 設置の目的

- 日本の優れた基礎研究の成果を確実に医薬品の実用化につなげるため、「死の谷」と呼ばれる応用研究の段階を中心に、切れ目のない支援が必要。アカデミア等の研究者に対する創薬支援を関係府省等が連携して推進するため、健康・医療戦略推進本部の下に「創薬支援ネットワーク協議会」を設置。

### これまでの取組及び主な成果

- 医薬基盤研究所に設置した「創薬支援戦略室」が本部機能を担い、理化学研究所、産業技術総合研究所等の創薬に関わる研究機関等が連携して創薬支援に取り組む「創薬支援ネットワーク」を構築。
- 創薬支援戦略室が、アカデミアからの創薬に関する相談や、優れた基礎研究成果（創薬シーズ）の調査を幅広く行い、有望なシーズに対して、各研究所等が連携し、研究計画の立案や個別の応用研究の実施等の総合的な支援を実施。

### <主な成果>

平成26年9月末までに、**191件の相談・シーズ評価を実施し、有望な22件について創薬支援を開始。**  
(達成目標:平成27(2015)年度末までに相談・シーズ評価400件、創薬支援40件、企業への導出1件)

### 今後の方針

- 創薬支援の効率化・高度化を図るとともに、平成27年度から創薬支援戦略室が日本医療研究開発機構に移管されることを踏まえ、他の研究プロジェクトと積極的に連携し、より多くの創薬シーズの実用化につなげていく。

## 医療国際展開タスクフォース

### 設置の目的

- 新興国・途上国等では、経済成長とともに持続的な医療システムのニーズが高まっているが、経験や技術、人材が不足。日本の医療技術・サービスを国際展開し、相手国の医療システム構築に協力するとともに、日本の最先端の医療サービスを実現する契機とする取組を関係府省等が連携して推進するため、健康・医療戦略推進本部の下に「医療国際展開タスクフォース」を設置。

### これまでの取組及び主な成果

- 平成25年8月の会合にて、「今後の医療の国際展開に関する合意」を決定し、関係府省や一般社団法人 Medical Excellence Japan (MEJ)等の関係機関の連携の下、医療国際展開を進めている。

### <主な成果>

関係府省・機関の連携の下、**これまで日本の医療拠点構築の合意等を11カ国、12件進めている他、医療・保健分野の協力に関する保健当局との政府間覚書を10カ国と署名。**

### 今後の方針

- 2020年までに新興国を中心に日本の医療拠点を10か所程度創設、2030年までに5兆円の市場獲得が目標。(本年度については、これまでの拠点に加えて3か所程度の医療拠点創設を目指す。)